

# 創刊の辞

東日本学園大学歯学会

会 長 神 澤 康 夫

昭和53年4月、東日本学園大学に歯学部が創設されて以来、ここに4年有余の歳月を順調に経過し、発展の一途を辿り、今日の姿となったことは本学理事長、学長をはじめ職員諸賢のご研鑽ご努力の賜物で、誠に同慶の至りであります。

一昨年より専門課程教育が開始され、その教育要員も充実されたところに皆様から速かに本学部機関学会を設立すべきであるとの声が挙り、爾来慎重に検討し、その準備を進め、本年7月待望の「東日本学園大学歯学会」が設立され、盛大裡に設立総会が挙行されましたことはご存知のことと存じます。

ついでこのたび本学会の機関誌である「東日本歯学雑誌」が創刊される運びに至りました。会員各位には当然それぞれの専門学会に所属されておられると思いますが、これとは別の意味で本学会あるいは本誌でのご活動を是非お願いしたいと思っております。

すなわち、一つは本学部設立後、日なお浅く、教育・研究組織の充実されたとはいえ、互に各講座間の研究交流は少ない感があり、今後とも本学会を通じ講座研究の方向・内容を紹介し討議を、場合により協力し合い一層の切磋琢磨を重ね、情報交換を密にして、よりよい研究成果を得る場とし、また専門学会とは逆にこのような討議からよりよい研究ヒントが浮ぶ場となることも多く、北の一角から広く歯科医学の推進隆盛を導くものとして有意義に運営を望む次第で、これが本学会の使命の一つと考えられる所以であります。

創刊された本誌に会員各位の研究活動の成果を活発にご発表されることを期待し、一層のご尽力を賜り益々の本学会の隆盛を望み、今日に至る間の関係各位のご努力ご後援に深く謝意を表し、創刊のご挨拶とします。